

I. 平成25年度 収支予算書、貸借対照表、財産目録について

平成25年度 収支計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

一般会計

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
1. 事業費	5,434,824	1. 基本財産運用収入	1,597
(1)脚本賞発表会費用	3,432,871	基本財産利息収入	1,597
(2)その他費用	2,001,953	2. 会費・寄付金収入	2,720,000
2. 管理費	2,184,615	寄付金・協賛金収入	2,720,000
給料手当	280,000	3. 事業収入	1,290,000
広告宣伝費	262,500	(1)脚本賞発表会収入	790,000
発送配達費	2,695	(2)その他収入	500,000
通信費	204,007	4. 雑収入	120,801
リース料	115,920	受取利息収入	801
地代家賃	516,000	雑収入	120,000
水道光熱費	66,965		
印刷製本費	94,117		
会議費	122,350		
消耗品費	40,936		
租税公課	29,100		
顧問料	430,500		
雑費	19,525		
合 計	7,619,439	合 計	4,132,398
		当期収支差額	△ 3,487,041
次期繰越資金	9,079,593	前期繰越資金	12,566,634
総 計	16,699,032	総 計	16,699,032

# 貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	55,690	未払金	40,000
普通預金	3,993,594	預り金	27,288
定期預金	8,001,597		
未収入金	10,000	負債合計	67,288
前払費用	43,000		
敷金	43,000	基本財産	3,000,000
		繰越財産	9,079,593
		(内、当期における正味財産増加額	△ 3,487,041)
		正味財産	12,079,593
資産合計	12,146,881	負債及び正味財産合計	12,146,881

## 正味財産増減計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:円)

科目	残高
増加資産の部	
当期収支差額	△ 3,487,041
増加額合計	△ 3,487,041
当期正味財産増加額	△ 3,487,041
前期繰越正味財産額	12,566,634
基本財産	3,000,000
期末正味財産合計額	12,079,593

# 財 産 目 録

(平成26年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
1. 現 金	手許現金有高	55,690	1. 未払金	事務局諸経費	40,000
2. 普通預金	みずほ銀行 広尾支店	123,772	2. 預り金	源泉所得税	27,288
	三井住友銀行 広尾支店	361,083			
	十八銀行 諫早支店	3,461,663			
	十八銀行 本店	47,076			
3. 定期預金	三井住友銀行 広尾支店	8,001,597			
4. 未収入金	ノーマイク3月分ポスト代	10,000			
5. 前払費用	4月分事務所家賃	43,000			
5. 敷金	事務所敷金	43,000	負債の部合計		67,288
			差引正味財産 (内、基本財産)		12,079,593 ( 3,000,000)
合 計		12,146,881	合 計		12,146,881

## 一般財団法人「市川森一脚本賞財団」

### 平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）事業報告

- ・ 4月9日（火）14時、NHK放送センターの記者クラブで、第1回市川森一脚本賞受賞者の発表、大島里美の会見が行われる。受賞対象作品は、NHK名古屋制作の「恋するハエ女」（29分枠・連続6回）。
- ・ 4月22日（月）17時半、千代田放送会館で第1回の受賞式が開かれる。授賞式後、大島里美を囲んで、俳優の笈利夫、制作の土屋勝裕、演出の福井充広、東山允裕らで、ミニトークショーを開催、番組の制作秘話が語られる。引きつづき、祝賀パーティーが開かれる。参加者は200名。
- ・ 4月24日（木）18時より、長崎県立博物館で、市川森一脚本賞受賞記念祝賀会実行委員会による、受賞記念祝賀会が開催され、受賞者トークセッション（大島里美、俳優・ミムラ、制作・土屋勝裕、演出・福井充広、東山允裕）が開かれる。引きつづき19時より、祝賀パーティーが開かれる。参加者は180名。
- ・ 6月20日（木）16時、千代田放送会館で、第3回理事会が開かれる。松本貢一理事が退任し、藤本宏樹理事に代わる。続いて平成24年度事業報告、同決算並びに監査報告が承認される。他に、会員呼称の変更（「設立会員」を改め、個人は「会員」、企業団体は「賛助団体会員」とする）が承認される。6月の定時評議員会は、文書配布による書面審議により、理事会報告が承認される。
- ・ 12月12日（木）10時、千代田放送会館で、第4回理事会が開かれる。25年度の事業計画の進捗状況と第一次の決算見込みが報告される。
- ・ 1月27日（月）14時、事務局で、選考委員長菅野がリストアップした脚本賞候補者9名を、理事の高橋、渡辺らで合議の上、以下の候補者7名に絞る。
  - 浜田秀哉「ラストホープ」（CX、全11回）、
  - 櫻井智也「ただいま母さん」（NHK、単発）、
  - 山浦雅大「35歳の高校生」（日本テレビ、全11回）、
  - 金子茂樹「SUMMER NUDE」（CX、全11回）、
  - 松本美弥子「こうのとりのゆりかご～“赤ちゃんポスト”の6年間と救われた92の命の未来～」(TBSテレビ、単発)、
  - 徳永友一「船の上の診療所」（CX、全11回）、
  - 武井彩「家族の裏事情」（CX、全11回）、
 また、選考委員の内山聖子（テレビ朝日）が業務繁忙のため選考委員を辞退され、TBSテレビの今江夏木に選考委員を委嘱。
- ・ 2月3日（月）18時30分、事務局で選考準備会を開く。倉内均（アマゾンテルナ）、次屋尚（日本テレビ）、森安彩（共同テレビ）、今江夏木が出席。脚本賞の趣旨と選考方法のすりあわせをする。

- ・ 3月20日（木）18時、千代田放送会館で選考会を開き、慎重審議の結果、第2回の受賞候補者が浜田秀哉に内定。受賞対象作品は、フジテレビ制作「ラストホープ」（2013年1月期～火曜9時、全11回）。
- ・ 3月25日（火）10時より、第5回理事会を開き、26年度の収支予算案と事業計画案の説明および、第2回脚本賞の審査経過報告が承認され、浜田秀哉が受賞者と決まる。さらに受賞式とパーティーおよび長崎祝賀会の概要が報告される。

#### <平成26年度>

- ・ 4月8日（火）14時、NHK放送センター内の記者クラブで、第2回受賞者の発表と浜田秀哉の会見が行われる。
- ・ 4月17日（木）17時30分、千代田放送会館で受賞式が開かれる。受賞対象作品に出演した高嶋政宏、制作の成河広明、演出の葉山裕紀が出席。浜田秀哉を囲んで制作秘話が語られる。引きつづき祝賀パーティーが開かれる。参加者は180名。
- ・ 5月13日（火）16時30分、片山安夫監事による会計監査が行われる。
- ・ 5月21日（水）、長崎の市川森一脚本賞受賞記念祝賀会実行委員会により、18時から、長崎県立博物館で、受賞記念長崎祝賀会の「受賞者トークショーセッション」（受賞者の浜田秀哉、プロデューサーの古屋建自、演出の葉山裕紀）が開かれる。参加者は115名。引き続き、19時から、会場をホテルセントヒル長崎に移して、パーティーが開かれる。参加者は120名。

（敬称略）